



ばるっこ

学校教育目標

～豊かな感性、確かな学力を身に付け、
たくましく未来を拓く子どもの育成～

中原小 めざす3つの「あ」

あいさつ **あ**りがとう **あ**きらめない

北九州市立中原小学校 校長 針尾 泰久

シャボン玉が浮いたよ！北九州高専出前授業（たんぼぼ学級・なかよし学級）



8月29日（金）に、たんぼぼ学級、なかよし学級の子ども達は、北九州高専の先生による出前授業を受けました。フラスコの中の液体の色が変化する様子をみながら「なんで、こんな色に変わるの？」「色がわかれているけど、なぜかな？」などの呟きが実験中に聞かれました。特に子どもたちが関心をもったのは、ドライアイスが入ったケースにシャボン玉を作って中に入れたら、シャボン玉が沈まず、浮いた状態が続いていました。子どもたちは事象を見ながら「なぜ、沈まないのかな？」「不思議だ。」「どうなっているのかな？」などはてなをもちながらじっくりと様子を観察していました。最後は、中庭にてフィルムケースにドライアイスを入れて蓋をすると、時間が経つと蓋が飛び跳ねる実験を行いました。今回の出前授業で子どもたちは科学に興味をもったようです。

平和を願う平和学習を行いました！（6年生）

9月2日（火）に6年生は「戦争を次世代に伝えていく会」代表の樺島由彬様による平和学習を行いました。前は5年生でしたが、今回は6年生の子どもたちを対象に行っています。樺島様の取材に基づき話をもとに子どもたちは、平和の大切さ、命の



尊さについて考える時間となりました。戦後80年目の夏を迎えた今年、戦争を経験していない戦後生まれの人口の割合は、日本の総人口の約9割に達したそうです。そのような中、戦争の記憶や教訓をどのように次の世代が受け継いでいくのかが課題となっていると言われています。今、世界の中では、戦争の犠牲になっている人がいますが、お互いの違いを認め合い、相手の立場で物事を考えることは、戦争を回避し、平和を実現するために必要不可欠なことではないでしょうか。中原小学校では毎年7月に平和を考える週間を設定していますが、この週間だけでなく、平和について考える取組を進めて参ります。

【お願い】 本日（5日 金曜日）、登校時に急に大雨が降り、濡れて登校した子どもたちがいました。学校は、体操服に着替えさせるなどの対応をしております。今後の不測の事態にそなえて、傘や替えの靴下、タオル等を持たせるなどご対応をお願いします。